

TAKAKO SUMIKAWA SOPRANO RECITAL PROFILE

プロフィール



ソプラノ 澄川孝子 Takako Sumikawa

梅光女学院高等学校卒業。作陽音楽大学声楽科卒業、同大学専攻科修了。三枝喜美子、阿部靖子、前原シヅカの各氏に師事。読売新人演奏会、西日本新人演奏会、山口県新人演奏会に出演。第1、2回のリサイタルを下関で開催。1979年ウィーン国立音楽大学に留学。S・エギルスドッティール、E・ヴェルバ、K・シュミードック、M・マイスカ、C・メラーの各氏に師事し、リート・オラトリオ・オペラを学ぶ。この後、1982年ウィーン国立音楽大学を優秀賞で卒業。

1983年スペインのフランシスコ・ヴィニヤス国際コンクールでシェーベルト賞を受賞。ウィーンのシェーンブルン宮殿とコペンハーゲンのチボリフェステバルでのオペラ公演で、モーツァルト作曲「ドン・ジョヴァンニ」のツェルリーナ役で出演。ウィーン・フォルクスオーパー（ウィーン国民歌劇場）に所属するほか、各地の教会でソリストとして活躍。

1986年帰国。現在は下関・北九州・東京・岡山などでリサイタルのほか、オペラ・宗教音楽（ミサ曲・レクイエム・カンタータなど）のソリスト、ギター伴奏でのサロン・コンサート、合唱指導やボイストレーナーなど幅広く活躍している。2000年中野義久（ギター）とのファーストアルバム「この道」を発表。

下関短期大学、同大学付属高等学校音楽科非常勤講師を経て後進の指導にあたっている。朝日カルチャーセンター講師、下関音楽人の会会員、北九州音楽協会理事、1997年下関市芸術文化振興奨励賞受賞。2003年山口県芸術文化振興奨励賞受賞。



メゾソプラノ 江崎裕子 Hiroko Esaki

大分県立芸術短期大学卒業。北九州市・福岡市に於いて演奏活動を行った後、93年より名古屋での演奏活動を始める。ソロリサイタルの他、オペラ「天守物語」をはじめ4本の名古屋オペラ協会公演に出演し、存在感のある歌と演技で好評を得る。

99年より北九州での演奏活動を再開。00年ピアノのA・コックス氏と共演。その後ウィーンコンツェルトハウスにて再びコックス氏と共演し、シューマン「女の愛と生涯」を歌い、現地で高い評価を得る。北九州シティオペラ公演「カヴァレリアルスティカーナ」サントウツア、「コシファンツウツ」ドラベッラ、「蝶々夫人」スズキ、「リゴレット」マッダレーナを歌う。コンサートに多数出演の他、第九、レクイエム、メサイヤのソリストを務める。



テノール 藤田卓也 Takuya Fujita

島根大学卒業、同大学院修了。その後4年間ヨーロッパに渡り研鑽に励む。これまでにKOBE国際学生音楽コンクール最優秀賞、ドヴォルザーク国際声楽コンクール2位等を受賞。ウィーンでは、ウィーン室内歌劇場、シェーンブルン宮廷歌劇場ほか学校公演などに出演。スロヴァキアの国立歌劇場において「椿姫」「ラ・ボエーム」に主役として出演。チェスキー・クルムロフ国際音楽祭、ヴラチスラヴィア・カンタンス国際音楽祭などにおいてソリストとして出演。

日本では、各地で「夕鶴」とひょう、「コジ・ファン・トゥッテ」フェランド、「愛の妙薬」ネモリーノ、「カルメン」ドン・ホセ、「道化師」カニオ、「椿姫」アルフレード、「リゴレット」マントヴァ侯爵、「蝶々夫人」ピンカートン、「ラ・ボエーム」ロドルフォ等のオペラや、第九またはオラトリオのソリストとして活動中。



バリトン 國元隆生 Takao Kunimoto

島根大学教育学部特別教科（音楽）教員養成課程卒業。翁長剛、呉恵珠の各氏に師事。1991年、92年、93年、99年渡伊。ミラノ、ローマにおいて、アリゴ・ポーラ、カルラ・バンニーニ、イータロ・ヌンツィアータ、ドリス・アンドリュース各氏のもとで研鑽を積み、ミラノでの演奏会に出演。オペラでは、「フィガロの結婚」フィガロ、「ドン・ジョヴァンニ」レポレッロ、「ラ・ボエーム」マルチェッロ、「椿姫」J・ジェルモン、「イルトロヴァトーレ」ルーナ伯爵、「仮面舞踏会」レナート、「シャムニーのリンダ」本邦初演、アントニオ等に出演。2006年には「フィガロの結婚」のソリストとして新国立劇場の舞台を踏んだ。オペラ・ガラ・コンサート（2001年広島市）では唯一の男性ソリストとして選出され広島交響楽団と共演。近県各地において、様々なコンサートにも出演している。



ピアノ 田中はる子 Haruko Tanaka

国立音楽大学ピアノ科卒業。同大学院オペラ科伴奏者を経る。1981～1982年ウィーン国立音楽大学に留学。エリック・ヴェルバ教授の下でリート・オラトリオの伴奏を学ぶ。モーツァルトテウム夏期講座（ザルツブルグ）、カリティッシャー音楽講座（オシアッハ）などに参加。また国際フェスティバル（イタリア・カルピ）、声楽講座（イタリア・ローマ）などのアシスタントピアニストを務める。その他、オーストリア、イタリアにて国際コンクール、コンサートの伴奏を務める。

平成2年度文部大臣奨励賞「友愛ドイツ歌曲コンクールにて最優秀伴奏者賞受賞」。現在、コンサートの伴奏、NHK・FM放送などフリー伴奏者として活動。国立音大音楽科嘱託演奏員。



ギター 中野義久 Yoshihisa Nakano

中学より独学でギターを始め、京都で岡本一郎、佐野健二の両氏に学ぶ。1981年第27回九州ギター音楽コンクール第1位。1984年第11回日本ギターコンクール第2位。2000年ソロアルバム「佐々木真一ギター作編曲集」をリリース。2002年ギター生活20周年記念リサイタル、2003年韓国釜山市、2005年同釜山市、晋州市でリサイタルを行う。2009年下関市民オーケストラ定期演奏会にて「アランフェス協奏曲」のソリストとして出演。

現在、ギター演奏の他、伴奏、ギター合奏・マンドリン合奏の指揮・指導・編曲など幅広く活動している。

山口県ギター音楽協会会長、九州ギター音楽協会副会長。日本音楽家ユニオン、北九州音楽協会、下関音楽人の会の各会員。プレリウド音楽教室、フォレストヒルミュージックアカデミー主任講師。2003年下関市芸術文化振興奨励賞受賞。

日舞／みよし会（花柳三吉一門の会）

花柳 裕吉・花柳吉由花・花柳三浪路・花柳吉紫奈乃・花柳あや舞・花柳久三雛路

リンデの会／澄川孝子主宰、ソロ・コーラスメンバーで構成された会

原 広美・河野 智子・上村 史子・一野 祐佳・植原 愛

上田 雅代・谷 奈見子・村上 由華・光山 慶恵（現在、下関・福岡・熊本でソロ活動）